

参加 89 社に積極売り込み

学院大・短大の学内合同企業説明会

来春に向け就職活動本格化

金沢学院大学・金沢学院短期大学の学内合同企業説明会は四月十四日、第一体育館などで行われ、参加した八十九社の人事担当者に対し、来春の就職を目指す学生が企業の詳しい説明を聞き、自己アピールしました。



目当ての企業のブースに並んだ学生 = 第一体育館

開場に先立ち、石田寛人学長、上山夏樹副理事長が「皆さんの企業に役に立つ人材の育成に努めています。ゆつくり学生と接してもらい、就職に結びつけば幸いです」などと挨拶しました。

黒やグレーのスーツを着込んだ学生たちは、興味のある業種、お目当ての企業のブースに列を作り、事業の内容や採用の方針に耳を傾ける一方、自己紹介書を提出して、積極的に売り込みを図りました。今回は参加企業、団体が



石田学長と懇談する田尻君（中央）と山下さん（右）

学長に成果報告と抱負 エグゼクティブ大派遣の新旧留学生

昨年に比べて十六社増えたため、3号館2階のカラテリアに公務員等のコーナーを設けました。金沢国

税局、警察署、日本郵政公社、自衛隊などがブースを構えて、学生の質問に答えました。

金沢学院大学の英エグゼクティブ大学派遣留学生二人が四月十一日、石田寛人学長を訪ね、帰国した学生が成果を報告し、派遣を控えた学生が抱負を語りました。訪れたのは今年三月まで一年間派遣されていた田尻

田尻君は「現地に行つて三カ月ぐらいで会話を聞き取れるようになり、ドイツやアフリカ出身のたくさんの方と出会えました」と成果を語りました。二日後に出発を控えていた山下さんは「友達を作り、自分の視野が広がる機会にしたい」と抱負を語りました。石田学長は「けが、病気に気を付けて、たくさん学んできてください」と激励しました。

トランポリンって楽しいな

北國クラブ園児体験教室に35人



古講師に飛び方の手ほどきを受ける園児。第二体育館

トランポリンの楽しさを知ってもらおうという園児向け体験教室が四月十五日、金沢学院大学第二体育館で開かれ、参加した三十五人が元気いっぱいに跳びはねました。

金沢学院北國クラブが五月六日に開講する園児教室を知ってもらおうと開いたもので、同クラブ女子監督である古章子金沢学院大学講師が指導に当たりました。園児教室は毎週金曜日の午後四時半から約一時間開かれます。

発行・広報室

携帯ユビキタス構築へ一歩
出欠システムが稼働

金沢学院大学と金沢学院短期大学が進める携帯電話活用の学園ユビキタス構築の第一弾として、四月十二日の授業開始から、ICチップ付き学生証を使った出欠システムが稼働しました。個々の学生が携帯電話などでインターネットに接続することで出欠状況のデータを入手でき、学校側は必修科目および選択必修科目の出席率向上に役立ててもらいたい考えです。ICチップ付きの学生証

は、今年度の新入生合わせて六百人に配布されました。履修者が四十人以上の必修・選択必修科目の授業を対象にこのシステムを使用しています。学生が読み取り機に学生証をかざすだけで、ICチップのデータに入った識別情報と授業情報が照合され、「出席」として同機接続のパソコンに記録される仕組みになっています。